

Ⅰ. 評価規準

観点別学習状況「B」に相当するものが、評価規準です。

【実技】※一・二学年共通

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	<p>○知識</p> <p>・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。</p> <p>※「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、体の動きを高める運動は、ねらいに応じて運動を行うことが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定していない。</p>	<p>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをして、健康・安全に気を配っている。</p>
器械運動	<p>○知識</p> <p>・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</p>	<p>・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</p>
陸上競技	<p>○知識</p> <p>・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの</p>	<p>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</p>

	<p>受渡してタイミングを合わせることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では，リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは，リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 		
水泳	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとするなど，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど，仲間の学習を援助しようとするなどなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 	<p>攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や</p>

	<p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・剣道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・相撲では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，押したり寄ったりするなどの簡易な攻防をすることができる。 		<p>挑戦を認めようとするなどをしたり，禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。</p>
ダンス	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは，多様なテーマから表したいイメージを捉え，動きに変化を付けて即興的に表現したり，変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化のある動きを組み合わせ，リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<p>・表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・ダンスに積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとするなど，交流などの話合いに参加しようとするなど，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどなどしたり，健康・安全に気を配ったりしている。</p>

【保健】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
調和のとれた生活	<p>①健康は，主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること，健康が阻害された状態の一つが疾病であること，また，疾病は，主体の要因と環境の要因とが相互に関わりながら発生することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②運動には，身体の各器官の機能を刺激し，その発達を促すとともに，気分転換が図られるなど，精神的にもよい効果がある</p>	<p>①健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康における事柄や情報などについて，保健に関わる原則や概念を基に整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見し，課題解決に取り組んでいる。</p> <p>②健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康について，習得した知識を自他の生活と比較したり，活用したりして，健康の保持増進をする方法を考え，課題の解決方法とそれを選</p>	<p>①健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康について，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

	<p>こと、また、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて運動を続けることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③食事には、健康な身体をつくるとともに、運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があること、また、健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事をする、年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④休養・睡眠は、心身の疲労を回復するために必要であること、健康を保持増進するためには、年齢や生活環境等に応じて休養・睡眠をとる必要があること、また、心身の健康は生活習慣と深く関わっており、健康を保持増進するためには、年齢、生活環境等に応じた適切な運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	
心身の発達と心の健康	<p>①身体の発育・発達には、骨や筋肉、肺や心臓などの器官が急速に発育し、その機能が発達する時期があること、また、その時期や程度には、人によって違いがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思春期には、呼吸器と循環器の働きが急速に発達すること、この時期に持続的な運動を継続することで発育・発達が促進されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器官の発育とともに生殖機能が発達し、女子では月経が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④生殖機能の発達とともに、男子では射精が起こること、また、受精が起こる仕組みについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要とな</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <p>②心身の機能の発達と心の健康について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康の保持増進をする方法を考えている。</p> <p>③欲求やストレスとその対処について、習得した知識や技能を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進をする方法やストレスへの適切な対処の方法を選択している。</p> <p>④心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

	<p>ることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥心は、知的機能、情意機能などの精神機能の総体として捉えられ、それらは生活経験や学習などの影響を受けながら、脳の発達とともに発達することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦社会性については、家族関係や友人関係などへの依存の状態は、生活経験や学習などの影響を受けながら変化し、自立しようとする傾向が強くなることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧自己形成については、思春期になると、自己を客観的に見つめたり、他人の立場や考え方を理解できるようになったりするとともに、物の考え方や興味・関心を広げ、次第に自己を認識し自分なりの価値観をもてるようになるなど自己の形成がなされることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑨欲求には、生理的な欲求と心理的、社会的な欲求があること、また、精神的な安定を図るには、日常生活に充実感をもてたり、欲求の実現に向けて取り組んだり、欲求が満たされないときに自分や周囲の状況からよりよい方法を見付けたりすることなどがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑩精神と身体には、密接な関係があり、互いに様々な影響を与え合っていること、また、心の健康を保つには、適切な生活習慣を身に付けるとともに、ストレスに適切に対処する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑪ストレスへの対処にはストレスの原因となる事柄に対処すること、ストレスの原因についての受け止め方を見直すこと、友達や家族、教員、医師などの専門家などに話を聞いてもらったり、相談したりすること、コミュニケーションの方法を身に付けること、規則正しい生活をするなどいろいろな方法があり、それらの中からストレスの原因、自分や周囲の状況に応じた対処の仕方を選ぶことが大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑫ストレスによる心身の負担を軽くするリラクセーションの様々な方法について、理解したこ</p>		
--	---	--	--

	とを言ったり書いたりしているとともに、それらの方法ができる。		
--	--------------------------------	--	--

【体育理論】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツは、体を動かしたり、健康を維持したりする必要性や、競技に応じた力を試したり、記録等を達成したり、自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりするなどの多様な楽しさから生みだされてきたことについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツは、人々の生活と深く関わりながら、いろいろな欲求や必要性を満たしつつ発展し、その時々の変化とともに、その捉え方が、競技としてのスポーツから、誰もが生涯にわたって楽しめるスポーツへと変容してきたことについて、言ったり書き出したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツの必要性和楽しさ、運動やスポーツへの多様な関わり方、運動やスポーツの多様な楽しみ方について、習得した知識を活用して、運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが多様であることを理解することや、意見交換や学習ノートの記述などの、思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに積極的に取り組もうとしている。
単元 2 運動やスポーツへの多様な関わり方	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツには、「する、見る、支える、知る」などの多様な関わり方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・運動やスポーツを「行うこと」に加えて、「見ること」には、テレビなどのメディアや競技場等での観戦を通して一体感を味わったり、研ぎ澄まされた質の高い動きに感動したりするなどの多様な関わり方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・「支えること」には、運動の学習で仲間の学習を支援したり、大会や競技会の企画をしたりするなどの関わり方があることについて、言ったり書き出したりしている。 ・「知ること」には、運動やスポーツの歴史や記録などを書物やインターネットなどを通して調べる関わり方があることについて、言ったり書き出したりしている。 		
単元 3 運動やスポーツの	<ul style="list-style-type: none"> ・世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることについて、言ったり書き出したりしている。 		

多様な楽しみ方	<p>・健康を維持したりする必要性に応じて運動を実践する際には、体づくり運動の学習を例に、体を動かすことの心地よさを楽しんだり、体の動きを高めることを楽しんだりする行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・競技に応じた力を試す際には、ルールやマナーを守りフェアに競うこと、世代や機会に応じてルールを工夫すること、勝敗にかかわらず健闘を称え合う等の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりする際には、互いの違いやよさを肯定的に捉えて自己やグループの課題の達成を楽しむ等の仲間と協働して楽しむ行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・自然と親しんだり、仲間と交流したり、感情を表現したりする際には、互いの違いやよさを肯定的に捉えて自己やグループの課題の達成を楽しむ等の仲間と協働して楽しむ行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p>		
---------	---	--	--

2. 評価方法 **※全学年共通**

①下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査
- ・実技テスト
- ・授業への取り組みの姿勢
- ・提出物（学習カード、ノートなど）
- ・授業の出席状況

②観点別評価と各評価資料との関係

- ・観点別評価で、各資料がどれくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

	重み付け	定期考査	実技テスト	授業への取り組みの姿勢	ノート	授業の出席状況	学習カード
知識・技能	100	◎	◎				
思考・判断・表現	100	◎		○	○		◎
主体的に学習に取り組む態度	100		△	◎	◎	◎	○

Ⅰ. 評価規準

観点別学習状況「B」に相当するものが、評価規準です。

【実技】※一・二学年共通

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	<p>○知識</p> <p>・体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。</p> <p>※「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、体の動きを高める運動は、ねらいに応じて運動を行うことが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定していない。</p>	<p>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどをして、健康・安全に気を配っている。</p>
器械運動	<p>○知識</p> <p>・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。</p> <p>・跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</p>	<p>・技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</p>
陸上競技	<p>○知識</p> <p>・陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバトンの</p>	<p>・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする、分担した役割を果たそうとする、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。</p>

	<p>受渡してタイミングを合わせることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。 ・ハードル走では，リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは，リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 		
水泳	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどをしてしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとするなど，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするなど，仲間の学習を援助しようとするなどをしてしたり，健康・安全に気を配ったりしている。
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 	<p>攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や</p>

	<p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・剣道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・相撲では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，押したり寄ったりするなどの簡易な攻防をすることができる。 		<p>挑戦を認めようとするなどをしたり，禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。</p>
ダンス	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作ダンスでは，多様なテーマから表したいイメージを捉え，動きに変化を付けて即興的に表現したり，変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。 ・フォークダンスでは，日本の民踊や外国の踊りから，それらの踊り方の特徴を捉え，音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化のある動きを組み合わせ，リズムに乗って全身で踊ることができる。 	<p>・表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・ダンスに積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとするなど，交流などの話合いに参加しようとするなど，一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとするなどなどしたり，健康・安全に気を配ったりしている。</p>

【保健】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活習慣の健康への影響	<p>①生活習慣病は，日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であること，また，運動不足，食事の量や質の偏り，休養や睡眠の不足，喫煙，過度の飲酒などの不適切な生活行動が病気のリスクを高めることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②不適切な生活行動を若い年代から続けることによって，やせや肥満などが引き起こされたり，また，心臓や脳などの血管</p>	<p>①生活習慣病などの予防，喫煙，飲酒，薬物乱用と健康における事柄や情報などについて，保健に関わる原則や概念を基に整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見している。</p> <p>②生活習慣病及びがんの予防について，習得した知識を自他の生活と比較したり，活用したりして，健康の保持増進する方法を考えたり，選択したりしている。</p>	<p>①生活習慣病などの予防，喫煙，飲酒，薬物乱用と健康に関心を持ち，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

<p>で動脈硬化が引き起こされたり、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりする危険な変化が進行すること、また、生活習慣病を予防するには、適度な運動を定期的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあること、また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④生活習慣病やがんは、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見でき、早期の治療が回復を早めることなどについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤たばこの煙の中にはニコチン、タール及び一酸化炭素などの有害物質が含まれていること、それらの作用により、毛細血管の収縮、心臓への負担、運動能力の低下など様々な急性影響が現れること、また、常習的な喫煙により、がんや心臓病など様々な疾病を起こしやすくなることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥酒の主成分のエチルアルコールが中枢神経の働きを低下させ、思考力、自制力、運動機能を低下させたり、事故などを起こしたりすること、急激に大量の飲酒をすると急性中毒を起こし意識障害や死に至ることもあること、また、常習的な飲酒により、様々な疾病を起こしやすくなることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦薬物乱用によって幻覚を伴った激しい急性の錯乱状態や急死などを引き起こすこと、薬物乱用により依存症状が現れ、中断すると精神や身体に苦痛を感じるようになるなど様々な障害が起きること、また、薬物乱用は、暴力、非行、犯罪など家庭・学校・地域社会にも深刻な影響を及ぼすこともあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>③喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進をする方法を考えたり、選択したりしている。</p> <p>④生活習慣病などの予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	
---	--	--

	<p>⑧喫煙，飲酒，薬物乱用などの行為は，好奇心，なげやりな気持ち，過度のストレスなどの心理状態，断りにくい人間関係，宣伝・広告や入手し易さなどの社会環境によって助長されること，それらに適切に対処する必要があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		
けがの防止と応急手当	<p>①けがは，人的要因と環境要因，およびそれらの相互の関りによって発生すること，また，人的要因としては，人間の心身の状態や行動の仕方について，環境要因としては，生活環境における施設・設備の状態や気象条件などについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②交通事故は，人的要因と環境要因，車両要因，およびそれらの相互の関りによって発生すること，また，中学生では自転車事故が多いこと，自転車事故では加害責任をともなう場合があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③交通事故を防止するためには，自転車や自動車の特性を知り，交通法規を守り，車両，道路，気象条件などの周囲の状況に応じ，安全に行動することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④地震などの自然災害や二次災害によってけがの危険が生じること，また，その防止には日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと，緊急地震速報を含む災害情報を正確に把握すること，地震などが発生した時や発生した後，周囲の状況を的確に判断し，自他の安全を確保するために冷静かつ迅速に行動する必要があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤傷害が発生した際に，その場に居合わせた人が行う応急手当には，けがや病気の悪化を防ぐなどの意義があること，また，応急手当の基本には，状況の把握，周囲の人への連絡と協力の依頼，傷害の状態に応じた手当があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥心肺停止に陥った人に遭遇したときの応急手当としては，気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）使用といった心肺蘇生法があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①けがの防止と応急手当における事柄や情報などについて，保健に関わる原則や概念を基に整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見している。</p> <p>②交通事故や自然災害などによるけがの防止について，習得した知識を自他の生活に適用したり，課題解決に役立てたりして，けがを引き起こす様々な危険を予測し，回避する方法を選択している。</p> <p>③けがに応じた適切な応急手当について，習得した知識や技能をけがの状態に合わせて活用して，けがの悪化を防止する方法を見いだしている。</p> <p>④けがの防止と応急手当について，自他の危険の予測や回避の方法とそれを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①けがの防止と応急手当に関心を持ち，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

	<p>⑦胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）使用などの心肺蘇生法方法について，理解したことを言ったり書いたりしているとともに，それらの方法ができる。</p> <p>⑧直接圧迫止血法，包帯法，固定法について，理解したことを言ったり書いたりしているとともに，それらの方法ができる。</p>		
--	---	--	--

【体育理論】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元1 運動やスポーツの 体と心への効果	<p>・運動やスポーツは，心身両面への効果が期待できることについて，言ったり書き出したりしている。</p> <p>・発達の段階を踏まえて，適切に運動やスポーツを行うことは，身体の発達やその機能，体力や運動の技能を維持，向上させるという効果があることや食生活の改善と関連させることで肥満予防の効果が期待できることなどについて，言ったり書き出したりしている。</p> <p>・発達の段階を踏まえて，適切に運動やスポーツを行うことで達成感を得たり，自己の能力に対する自信をもったりすることができ，ストレスを解消したりリラックスしたりすることができ，などの効果が期待できることについて，言ったり書き出したりしている。</p> <p>・体力や技能の程度，年齢や性別，障害の有無等の様々な違いを超えて，運動やスポーツを行う際に，ルールやマナーに関して合意形成することや適切な人間関係を築くことなどの社会性が求められることから，例えば，違いに配慮したルールを受け入れたり，仲間と教え合ったり，相手のよいプレイに称賛を送ったりすることなどを通して社会性が高まることについて，言ったり書き出したりしている。</p>	<p>・運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果，運動やスポーツの学び方，安全な運動やスポーツの行い方について，習得した知識を活用して，運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて，思考し判断するとともに，自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。</p>	<p>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方を理解することや，意見交換や学習ノートの記述などの，思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに積極的に取り組もうとしている。</p>
単元2 運動やスポーツの 学び方	<p>・運動やスポーツの課題を解決するための合理的な体の動かし方などを技術といい，技能とは，合理的な練習によって身に付けた状態であること，技能は個人の体力と関連していることについて，言ったり書き出したりしている。</p> <p>・各種の運動の技能を効果的に獲得するためには，その領域や種目に応じて，よい動き方を見</p>		

	<p>付けること、合理的な練習の目標や計画を立てること、実行した技術や戦術、表現がうまくできたかを確認すること、新たな課題を設定することなどの運動の課題を合理的に解決する学び方があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・特に競技などの対戦相手との競争において、技能の程度に応じた戦術や作戦を立てることが有効であることについて、言ったり書き出したりしている。</p>		
単元 3 安全な運動やスポーツの行い方	<p>・安全に運動やスポーツを行うためには、特性や目的に適した運動やスポーツを選択し、発達の段階に応じた強度、時間、頻度に配慮した計画を立案すること、体調、施設や用具の安全を事前に確認すること、準備運動や整理運動を適切に実施すること、運動やスポーツの実施中や実施後には、適切な休憩や水分補給を行うこと、共に活動する仲間の安全にも配慮することなどが重要であることについて、言ったり書き出したりしている。</p>		

2. 評価方法 **※全学年共通**

①下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査
- ・実技テスト
- ・授業への取り組みの姿勢
- ・提出物（学習カード、ノートなど）
- ・授業の出席状況

②観点別評価と各評価資料との関係

- ・観点別評価で、各資料がどれくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

	重み付け	定期考査	実技テスト	授業への取り組みの姿勢	ノート	授業の出席状況	学習カード
知識・技能	100	◎	◎				
思考・判断・表現	100	◎		○	○		◎
主体的に学習に取り組む態度	100		△	◎	◎	◎	○

Ⅰ. 評価規準

観点別学習状況「B」に相当するものが、評価規準です。

【実技】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体づくり運動	<p>○知識</p> <p>・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。</p> <p>※「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、実生活に生かす運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定していない。</p>	<p>・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>
器械運動	<p>○知識</p> <p>・器械運動の技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</p> <p>・鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</p> <p>・平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができる。</p> <p>・跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うことができる。</p>	<p>・技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を讃えようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>
陸上競技	<p>○知識</p> <p>・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。</p> <p>・長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p>	<p>・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとするなど、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができる。 		
水泳	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水泳の技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは，手と足の動き，呼吸のバランスを保ち，安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと，又はリレーをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとする事，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。
球技	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技の技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型では，安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・ネット型では，役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では，安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとする事，作戦などについての話合いに貢献しようとする事，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事，互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようしたり，健康・安全を確保したりしている。
武道	<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道の伝統的な考え方，技の名称や見取り稽古の仕方，体力の高め方などについて理解している。 <p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柔道では，相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技，連絡技を用いて，相手を崩して投げたり， 	<ul style="list-style-type: none"> ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・武道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり，健康・安全を確保したりしている。

	<p>抑えたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>・相撲では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手を崩し、投げたりいなしたりするなどの攻防をすることができる。</p>		
ダンス	<p>○知識</p> <p>・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。</p> <p>○技能</p> <p>・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方などで変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができる。</p> <p>・フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて特徴的なステップや動きと組み方で踊ることができる。</p> <p>・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。</p>	<p>・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをして、健康・安全を確保したりしている。</p>

【保健】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
感染症の予防と健康を守る	<p>①感染症は、病原体が原因となって起こる病気であること、また、病原体は様々な経路で広がっていき、病原体の種類によって感染経路は異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②私たちの体には、病原体の侵入を防いだり、排除したりする抵抗力が備わっていること、体の抵抗力は生活習慣や予防接種によって高めることができることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③感染症を予防するには、発生源をなくす、感染経路を遮断する、体の抵抗力を高めるとい</p>	<p>①感染症の予防、健康を守る社会の取り組みにおける事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <p>②感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康の保持増進をする方法を選択すること。</p> <p>③感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、</p>	<p>①感染症の予防、健康を守る社会の取り組みに関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

	<p>た3つの対策が有効であること、感染症にかかった場合は、周囲に感染を広げないためにも早期に適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④性感染症の青少年の感染が社会問題となっており、その疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する予防方法について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤エイズは、HIV という病原体によって起こり、免疫の働きを弱めてしまう感染症であること、その主な感染経路は性的接触であるため、性感染症の予防方法が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥私たちの健康は、個人の努力だけでなく、社会の取り組みによって支えられていること、また、保健機関の役割を知り、有効に利用することが大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦心身の不調を感じたら早期に医療機関を受診する必要があること、医療機関にはそれぞれ役割があり、適切に利用することが求められることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用法があり、正しく使用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	
環境の健康への影響	<p>①体には環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、適応能力の限界を超えると健康に重大な影響があるため、環境の変化に対処することが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②気象情報は、人々の迅速な防災行動を促したり、気象の変化によっておこる健康被害を未然に防いだりすることに役立つこと、特に熱中症を防ぐには気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③気温・湿度・気流には、学習やスポーツなどそれぞれの活動がしやすい至適範囲があり、至適範囲から外れると活動の能率の低下がみられるこ</p>	<p>①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <p>②身体の環境に対する適応能力・至適範囲について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだしている。</p> <p>③飲料水や空気の衛生的管理や廃棄物の衛生的管理について、習得した知識と自他を取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。</p> <p>④健康と環境について、課題の解決方法とそれを選択した</p>	<p>①健康と環境に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

	<p>と、また、明るさにも至適範囲があり、活動の内容や場所によって異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④二酸化炭素の増加や一酸化炭素の発生によって室内の空気が汚染されると健康に害を及ぼすこと、また、衛生的な室内環境を保つためには換気が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤水は、人間の生命維持や健康な生活と密接なかわりがあり重要な役割を果たしていること、また、飲料水には水質基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥し尿やごみなどの廃棄物を放置すると、自然環境が汚染され、健康にも悪影響を及ぼすこと、そのため廃棄物の種類に応じて衛生的に処理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦地震や台風、局地的豪雨などの災害によって環境が悪化すると、様々な健康被害が発生すること、また、災害時には公共機関の情報を活用したり、即時性や局地性に優れたSNSなどの情報源の正確性を判断したうえで活用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧健康に影響を及ぼす環境汚染は変化してきていること、環境問題は生活と密接につながっており、循環型社会の実現には私たち一人ひとりの行動が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。	
--	--	--	--

【体育理論】

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元Ⅰ 現代生活	<p>・現代生活におけるスポーツは、生きがいのある豊かな人生を送るために必要な健やかな心身、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていることについて</p>	<p>・現代生活におけるスポーツの文化的意義、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割、人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて、習得した知識を活用して、運動やス</p>	<p>・文化としてのスポーツの意義を理解することや、意見交換や学習ノートの記述などの、思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに自主的に取り組もう</p>

における スポーツ の意義	て、言ったり書き出したりしている。	ポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて、思考し判断するとともに、自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。	としている。
単元2 国際的な スポーツ 大会の意 義と役割	・オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは、世界中の人々にスポーツのもつ教育的な意義や倫理的な価値を伝えたり、人々の相互理解を深めたりすることで、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることについて、言ったり書き出したりしている。		
単元3 人びとを 結ぶスポ ーツ	・スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結び付ける文化的な働きがあることについて、言ったり書き出したりしている。		

2. 評価方法 **※全学年共通**

①下記の資料を総合して評価します。

- ・定期考査
- ・実技テスト
- ・授業への取り組みの姿勢
- ・提出物（学習カード、ノートなど）
- ・授業の出席状況

②観点別評価と各評価資料との関係

- ・観点別評価で、各資料がどれくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する ○…重視する △…参考にする場合がある

	重み付け	定期考査	実技テスト	授業への取り組みの姿勢	ノート	授業の出席状況	学習カード
知識・技能	100	◎	◎				
思考・判断・表現	100	◎		○	○		◎
主体的に学習に取り組む態度	100		△	◎	◎	◎	○